



2026年5月8日

各 位

会社名 株式会社 GENOVA  
代表者名 代表取締役社長 平瀬 智樹  
(コード番号：9341 東証プライム)  
問合せ先 取締役執行役員 武田 幸治  
(TEL 03-5766-1820)

### 業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向等を踏まえ、2025年5月14日及び2025年10月15日に公表した2026年3月期の通期業績予想を下記のとおり修正したことをお知らせいたします。

#### 記

#### 1. 2026年3月期 通期連結業績予想の修正 (2025年4月1日～2026年3月31日)

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	親会社株主に 帰属する当期 純 利 益	1株当たり 連結当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 11,332	百万円 477	百万円 482	百万円 417	円 銭 24.11
今回修正予想 (B)	11,565	400	432	275	15.89
増減額 (B-A)	233	△76	△49	△141	
増減率 (%)	2.1	△16.1	△10.3	△34.0	
(参考) 前期実績 (2025年3月期)	10,006	2,026	2,018	1,413	79.78

## 2026年3月期 通期個別業績予想の修正（2025年4月1日～2026年3月31日）

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	百万円 11,261	百万円 1,396	百万円 953	円 銭 55.09
今回修正予想（B）	8,686	556	314	18.15
増減額（B－A）	△2,574	△839	△638	
増減率（％）	△22.9	△60.1	△67.0	
（参考）前期実績 （2025年3月期）	9,850	2,032	1,429	80.71

## 2. 修正の理由

## （連結業績予想）

2025年7月に事業譲受した歯科流通事業（株式会社ASANO）は、当連結会計年度より本格的に業績へ寄与しております。当該事業の連結により売上高は拡大したものの、同事業は元来の売上総利益率が低く、当初計画していた原価率の低減に向けた施策が現在PMI（経営統合プロセス）の途上にあることから、連結利益を押し下げる要因となりました。

また、親会社株主に帰属する当期純利益においては、法人税等調整額（損）の計上などの損益影響が発生しております。具体的には当社における将来の課税所得の見積りについて、今期の業績動向等を踏まえ、繰延税金資産の回収可能性に関して、税効果会計における会社分類の検討を行った結果、繰延税金資産の取崩し及び法人税等調整額（損）を計上する見込みとなったことなどにより、前回発表予想に比べ利益が減少する見込みです。これらを踏まえ、2026年3月期通期の連結業績予想数値を上記のとおり修正いたしました。

## （個別業績予想）

2025年10月15日に公表した通期の連結業績予想に記載の通り、主力のメディカルプラットフォーム事業においては、PV数の伸び悩みによる成長鈍化が継続いたしました。

当社はこの状況を打破すべく、医療コンテンツの充実、制作体制の強化を推し進めてまいりました。これらの施策が奏功し、業績は第3四半期末を底として反転いたしました。直近の第4四半期会計期間におきましては、市場シェアの拡大に伴う基盤強化が進み、業績は力強い回復基調へと転じております。

しかしながら、前半の業績停滞を補填するまでには至らず、通期での売上高は当初計画を下回る見込みとなりました。これら直近の進捗状況を鑑み、2026年3月期通期の個別業績予想数値を上記のとおり修正いたしました。

### 3. 期末配当予想について

当社は、株主の皆様への利益還元を経営の重要課題と位置づけ、資本効率、株主資本配当率（DOE）に留意し、持続的な成長の実現等により配当水準の向上を目指すことを基本方針としております。上記の基本方針のもと、親会社株主に帰属する当期純利益が前回修正予想を下回る見込みではございますが、今後も堅調な事業成長が見込めるため、当期の期末配当予想につきましては、当初予想（1株当たり30円）を維持することを想定しております。

以 上